

平成20年度消防庁予算(案)について

平成20年度予算額(案) 137億90百万円(⑱135億64百万円)

(単位:百万円、%)

	⑳予算額 (案) a	㉑要求額 b	⑲当初予算 c	比較増減額 a-c	増減率 (a-c)/c
総 額	13,790	16,141	13,564	226	1.7
事業費等	5,419	7,470	5,093	326	6.4
消防補助負担金	8,371	8,671	8,471	△ 100	△ 1.2
緊急消防援助隊設備整備費補助金	5,000	5,200	5,000	0	0.0
消防防災施設整備費補助金	3,251	3,351	3,351	△ 101	△ 3.0
国庫負担金	120	120	120	0	0.0

注 端数処理の関係上、表中の計算が合わないことがある。

このほか、平成19年度補正予算(案)において、北海道洞爺湖サミットにおける消防・救急体制の整備に要する経費として 98百万円が措置されている。

(担当課・連絡先)

消防庁総務課

川島理事官、佐藤係長

TEL: 03-5253-7506

FAX: 03-5253-7531

〈主要事業〉

(1) 大規模地震・大規模災害に対する備えの強化

90億97百万円（4億17百万円増）

<主なもの>

- ① 民間事業所における自衛消防力の確保
44百万円(新規)
- ② 緊急消防援助隊の充実強化
50億円(①950億円)
- ③ 原子力災害対策の拡充
8百万円(①94百万円)
- ④ 消防防災施設の整備
32億51百万円(①33億51百万円)
- ⑤ 特別高度工作車の整備【重点施策推進要望】
3億74百万円(新規)

(2) 消防防災・危機管理体制の強化

12億20百万円（1億02百万円減）

<主なもの>

- ① 市町村消防の広域化の推進
12百万円（①18百万円）
- ② 消防団による地域活動の推進
68百万円（①69百万円）
- ③ 全国瞬時警報システム（J-ALERT）の整備推進
29百万円（①1億84百万円）
- ④ 国民保護訓練の経費負担
94百万円（①94百万円）

⑤ 北海道洞爺湖サミットにおける消防・救急体制の整備

3億54百万円(新規)

※ サミット関連経費については、このほかに⑱補正(案)で98百万円を措置

(3) 火災予防対策等の積極的推進・消防防災科学技術の向上

10億37百万円(78百万円減)

<主なもの>

① 住宅用火災警報器等の普及促進

24百万円(⑱24百万円)

② 火災危険性の高い小規模施設に対応した防火対策の推進

23百万円(新規)

③ 屋外貯蔵タンクの安全対策の充実

61百万円(新規)

④ 消防防災技術研究開発

2億94百万円(⑱3億11百万円)

(4) 地域防災力の強化・救急救命の充実と高度化

1億49百万円(15百万円増)

<主なもの>

① 救急隊員・救急救命士が行う救命措置等の質の向上

15百万円(⑱9百万円)

② 新型インフルエンザ発生時の適切な救急業務提供体制の整備

27百万円(新規)